

## 第2回「(仮称)学研都市から世の中を変える会」議事録(骨子)

- ・自動運転をやっていただきたい。例えば「かんぽの宿」(現在の亀の井ホテル)で自動運転ができないか。警察が障害になるなら、国家戦略特区などの規制改革を行えないか。
- ・食に関しては、人が賑わうようなよいお店に出店してほしい。
- ・自動運転に関しては、東田で自動運転のバスを走らせてデータを積み上げることを第一段階として、その実績を上げながら学研都市周辺でも行えるといいかなと思っている。
- ・学研都市の衣食住に関しては、学研都市の学生を含めていろんな方に情報を伝えることが第一段階だと思っている。
- ・留学生に関しては、留学生がアプローチしやすい仕組みを作りたいと思っている。
- ・2号館の壁の件は、無機質な空間から楽しい空間にという意味で、ぜひ建築の専門家に意見を聞いて看板などを出してほしい。
- ・New Uに関しては、「すぐ作る課」の学生(ドクター1年のスーパーマン的な学生)が頑張っているので、是非取り上げていただきたい(新聞に掲載済み)。下川さんに委託してPRするなどできないか。
- ・スペースラボとの連携については、我々もアプローチを考えているが、東田地区の他の施設との連動も考えるべきではないか。
- ・スペースラボについて、展示を見た人からの反応が分かれば、効果的なアピールの方法が考えられると思う。
- ・科学館の方にアンケートが取れるような仕組みなどを提案したい。
- ・科学館の運営会社を通して、展示やイベントに関する相談をすべきだと思う。
- ・福岡市では、九大がバックアップして、研究室ごとにイベントを2~3週間や半年コースで開催しているようである。
- ・展示した先生に直接会って話しができるなど、興味ある人たちに情報が届くような仕組みにできればよいと思う。
- ・東田でやるようなことを学研都市でもやって、なんとか学研都市に人が来てもらいたい。
- ・スペースラボのサテライトを学研都市に置くのはどうか。
- ・スペースラボだけでなく、いのちの旅博物館や環境ミュージアムなどと連携させたいと思っている。その結果として、いろんなイベントが出てくると、先生方に参加してもらえる機会が増えるかもしれない。

そういうチャンスを活かして学研都市を知ってもらおうというのが我々の希望である。

- ・学研都市に人を集めたいという思いは我々も同じだが、その前に、まずは人が集まる東田でやってみようという思いはあります。
- ・北九大ひびきのキャンパスでは、教員、職員、学生の三者で一緒に話し合いながら、SNS を広報に活用する方法を検討している。
- ・「エアステーションひびきの」で番組を月一回やる予定なので、FAIS や他大学の番組と相乗りできれば面白いのではないかと思う。
- ・学生や若い人の発想での広報は重要だと思うので、そういうアイデア出しができる場を作る必要があると思っている。学研都市全体に発展する方向で検討しているので、また相談させていただきたい。
- ・広報に関しては、FAIS 内部でも課題になっており、特に留学生に対する広報は改善の余地があると思っているので、各大学と相談させていただきたい。
- ・広報はプロに任せたほうが良いと思うが、NEW U をやっている下川さんなどに委託して学研都市の方もやらしてもらえないのか。
- ・研究の情報はリサーチマップに掲載してはどうか。
- ・大学の広報については、各大学の広報担当部署ががんばっている。(例えば、北九大の国際関係学科など)
- ・広報に関してもなるべくこう自動化の仕組みをつくるなどの DX 化が必要。
- ・デザインセンスのある人をお願いするのがよい。
- ・企業の人たちとの情報交流については、分野を超えた交流や若手との交流というのは企業からどの程度の人を出してもらえるのかということもありなかなか難しい。上手く情報を共有して調整する必要がある。
- ・ものづくりにおいて、大学はアイデアを出すところで、最後に世の中に出て行くのは企業からだと思う。
- ・留学生は、日本で就職をしたいと考えている学生が多いと思うので、例えば企業を応援する産業の育成のような位置づけをアカデミックの立場である程度考えなければいけないのではないか。
- ・技術のキーワード別に、ざっくばらんな意見交換ができるようなグループができればよいと思う。
- ・ものづくりで必要なことは何なのかについて学研都市で取り組むことをアピールしたら、企業の人たちも目を向けてくれるのではないか。
- ・現場の産業では、やりたいテーマはあるが、なかなか取り組めないといったような問題もあるようである。。
- ・実施体制の問題だと思う。誰が責任を持って実行していくかという仕

組みづくりが重要だと思う。

- 例えば、機械学会の分科会は、大学と企業の委員がおり、四つくらいのテーマについて検討を行うが、25人ぐらいの代表委員が中心になって進めている。
- 学会に参加して、場合によっては論文も書けるというのはすごい文化だと思うが、その文化を作るのが大変だと思う。
- 例えば、北九州ならではの技術、知識、経験など、ここならではの技術グループみたいなものがあると、日本の企業が集まって来るのではないかと思う。
- 日本の企業、特に北九州の中小企業は学会に入っていない企業の方が圧倒的に多いが、その理由は景気が悪いときにお金がなかったというのが一番多い。
- 北九州の企業は、人材育成にお金がかかることに対する意識が弱いいため、国や自治体からのサポートがないとなかなかできない。
- 大学教員の評価基準が単に特定の指標だけに偏りすぎていて、本当に必要な人材はなかなか職を求められない。特に若い人がそう思っているため、そこを変えることが重要だが、大学のトップは特定の指標で大学の評価を上げたいと思っているため、そのジレンマを克服するのが大変だと思う。
- 企業が本当にやりたいことをするためには大学の先生の手が必要であるが、なかなかうまく交流できていないので、ここが日本の一つの課題だと思う。
- 学術研究都市における企業連携に関しては、例えば半導体やDXなどの必ずこの先の産業につながっていくものをテーマにしないと企業は乗ってこないと思う。
- 連携できる場の提供と人とのつながり（誰とやるか）が重要である。
- DXセンターや2号館という立派な施設があるので、それらの運営（音頭取り）を誰がやるのか明確にした方がよい。
- 建築構造の分野でも企業と大学の先生の意見交換の場があるが、音頭を取る先生がいると、企業の方も自発的に参加しているようなので、やっぱり誰が音頭を取ってやるかということは大事だと思う。
- 地域企業の社長さん方は、学生（留学生）の研究内容を知りたがっているため、今度留学生を連れて話に行こうと思っている。将来的には、いろんな企業と留学生の交流（留学生支援ネットワーク）ができればと考えて活動している。
- 北九州でも全く違うグループの企業同士が色んな情報交流をしようという動きはあるので、あとはその情報をいかに先生方に提供していく

かが問題である。

- ・企業の方も、実は大学の先生が何をやっているのかまったく知らない人が圧倒的に多いので、企業と大学が情報交流する機会を作っていくことが重要である。
- ・以前は「金曜懇親会」をやっていた。最初の頃は大学の先生や学生（特に留学生）でやったいたが、最後の方は企業も呼んで三ヶ月に一回程度やっていた。これを、東京や大阪地域の企業も呼んでやってはどうか。
- ・ひびきのサロンなどで、スピーカーが決まった時点で、そのスピーカーに対して何かコメントできそうな人を学研都市の中の先生から招聘する仕組みが作れば、企業と研究者の交流につながるのではないか。自由参加だとなかなか参加しないので、要は仕事（役割）を作ることが重要である。
- ・FAIS もそれなりの予算はあるので、アイデアを出してほしい。
- ・九工大 AI マッチングで対象の先生を探すのは、九工大の了解が必要。
- ・軽労化の研究をしている北大の田中先生などはどうか。
- ・企業と大学の両方に講師をしてもらう講習会なども人が集まると思う。
- ・企業と大学が両方参加して、ざっくばらんに意見交換できる場が良いと思う。
- ・職場づくりのノウハウとしてオムロン太陽さんのやり方を北九大事務局を通じて紹介した。また、見せ方の問題として企業に若手社員向けの研修としてノーマライゼーションをやらないか投げかけたところ、社長から反応があった。
- ・学研都市の先生同士で連携して、企業や研究者を呼んでイベントを行ってはどうか。
- ・本日の意見を整理して、再度議論してアイデアをいただきたい。そのうえで、先生方が企業の方を巻き込んで、一つの新しい方向性が出せる可能性があるのではないかと思っている。
- ・広報に関して、本当に効果のある広報の媒体とは何なのかを教えていただきたい。
- ・大規模会議の展示会に学研都市のブースを出すというのはどうか。
- ・昔は出していたと思うが、企業や大学の先生も含めて、計画しようと考えている。
- ・金沢工科大学のメルマガは内容が充実しているので、FAIS メルマガの参考になるのではないか。
- ・どのように PR するかについては、誰にどうやって伝えるか、また、

sns などいくつかの手段を用いて伝えることが重要だと思う。

- 本日の資料の中で、環境づくりやベンチャー育成を人材育成・人材支援のカテゴリーに入れているが、それぞれ別個のカテゴリーにした方がよいのではないか。ベンチャー育成は人を育てることになり、ベンチャー自身は育成しないようになってしまわないか。
- 本日の意見を整理し、精査したものをお示しして再度ご意見をお伺いすることとしたい。
- 日程調整の DX 化をお願いしたい。